



令和元年9月2日
(一社) 十日町市観光協会

**「第38回十日町小唄日本一優勝大会・歴代優勝者大競演会」
を開催します**

「十日町小唄」の唄い手日本一を決めるコンテストを開催するほか、ゲスト出演者によるアトラクションを行います。

また、国民文化祭の開催、十日町小唄誕生90周年を記念して、21日に前夜祭として歴代優勝者をゲストに迎え競演会を実施します。

- 開催日時 ○十日町小唄歴代優勝者大競演会
令和元年9月21日(土) 15:00～18:00
○第38回十日町小唄日本一優勝大会
令和元年9月22日(日) 9:00～17:00頃
- 会場 越後妻有文化ホール「段十ろう」(両日)
- 内容 ○十日町小唄歴代優勝者大競演会
歴代優勝者30名(過去37回開催)が得意の民謡を披露
オープニングゲスト:松亭太鼓
○第38回十日町小唄日本一優勝大会
出場者:一般の部74名、少年少女の部17名 計91名
※内訳(一般の部):市内6名、県内(市内除く)40名、県外28名
アトラクションゲスト:「津軽三味線デュオ 輝&輝(KIKI)」
- 入場料 両日とも無料(各種プログラム1部500円 ※当日販売)
- 主催 文化庁 厚生労働省 新潟県 第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会 十日町市 十日町市教育委員会 第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭十日町市実行委員会 (一社)十日町市観光協会
- 添付資料 十日町小唄日本一優勝大会・歴代優勝者大競演会プログラム(2種類)

■お問合せ先

(一社) 十日町市観光協会
担当: 高橋宏希 ☎025-757-3345

十日町小唄日本一優勝大会歴代優勝者

第1回 (S.57)	金沢 幹枝	第21回 (H.14)	男性の部	中村 正喜	第29回 (H.22)	60歳未満の部	滝沢 愛子
第2回 (S.58)	樋口 ハル		女性の部	若瀬 弥生		60歳以上の部	田村 美紀子
第3回 (S.59)	小林 よしえ	第22回 (H.15)	男性の部	庭野 安治		少年少女の部	渡辺 花梨
第4回 (S.60)	原 圭子		女性の部	羽田 史子	第30回 (H.23)	60歳未満の部	柳 愛子
第5回 (S.61)	高橋 テイ	第23回 (H.16)	男性の部	相澤 貞夫		60歳以上の部	田村 菊子
第6回 (S.62)	佐藤 カオル		女性の部	川田 智代乃		少年少女の部	佐藤 愛珠
第7回 (S.63)	石渡 久子		少年少女の部	大口 かな	第31回 (H.24)	60歳未満の部	横山 歩美
第8回 (H.元)	尾身 文子	第24回 (H.17)	男性の部	大津 博美		60歳以上の部	田村 美紀子
第9回 (H.2)	福原 むつ子		女性の部	山口 幸子		少年少女の部	渡辺 花梨
第10回 (H.3)	剣持 洋子		少年少女の部	大口 かな	第32回 (H.25)	60歳未満の部	東梅 育恵
第11回 (H.4)	上村 春子	第25回 (H.18)	60歳未満の部	草野 美好		60歳以上の部	丸山 美代子
第12回 (H.5)	橋本 たまみ		60歳以上の部	中浜 妙子		少年少女の部	田中 毬愛
第13回 (H.6)	渡辺 澄子		少年少女の部	大口 かな	第33回 (H.26)	一般の部	菊地 智江
第14回 (H.7)	尾身 恵美子	第26回 (H.19)	60歳未満の部	笹岡 亜矢		少年少女の部	田中 毬愛
第15回 (H.8)	牧野 涼子		60歳以上の部	浅見 幸子	第34回 (H.27)	一般の部	高橋 寿子
第16回 (H.9)	田村 法子		少年少女の部	中澤 神奈子		少年少女の部	西澤 彩可
第17回 (H.10)	渡邊 克子	第27回 (H.20)	60歳未満の部	楡井 フサ子	第35回 (H.28)	一般の部	羽吹 徒史子
第18回 (H.11)	男性の部 佐々木 光雄		60歳以上の部	高橋 幸子		少年少女の部	西澤 彩可
	女性の部 小林 絹江		少年少女の部	山下 京香	第36回 (H.29)	一般の部	水落 まどか
第19回 (H.12)	男性の部 原 市男	第28回 (H.21)	60歳未満の部	堀 ひろみ		少年少女の部	保坂 明里
	女性の部 米田 典子		60歳以上の部	長谷川 ヨシ子	第37回 (H.30)	一般の部	佐藤 陽子
第20回 (H.13)	男性の部 大口 貞信		少年少女の部	中澤 神奈子		少年少女の部	保坂 明里
	女性の部 白井 瞳						

第38回

十日町小唄

日本一優勝大会

令和元年 9月22日(日)

開場/午前9時
開演/午前9時50分

入場無料

プログラム有料
一部 500円
当日販売

ゲスト

津軽三味線 輝&輝 KIKI
佐藤 陽子

天皇陛下御即位記念

第34回国民文化祭・いがた2019、
第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会
十日町小唄誕生90周年記念

越後名物 かずかずあれど

附石ちぢみに 雪の肌

着たら放せぬ味のよさ

テモサツテモ ソジャナイカ

テモ ソジャナイカ

会場/越後妻有文化ホール 段十ろろ

Echigo-Tsumari Auditorium Danjuro
〒948-0083 新潟県十日町市本町一丁目上508番地2

主催/文化庁・厚生労働省・新潟県・新潟県教育委員会・第34回国民文化祭・第19回全国障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会・十日町市・十日町市教育委員会・第34回国民文化祭・第19回全国障害者芸術・文化祭十日町市実行委員会
(一社)十日町市観光協会 新潟県十日町市旭町251番地17 十日町市総合観光案内所内 TEL025-757-3345

後援/ (公財)日本民謡協会・(一財)日本郷土民謡協会・(公財)日本民謡協会新潟県連合委員会・(一財)日本郷土民謡協会新潟地区連合会・(公社)新潟県観光協会・(一社)新潟県民謡協会・NHK 新潟放送局・BSN 新潟放送・N S T・TeNY テレビ新潟・UX 新潟テレビ21・十日町農業協同組合・十日町商工会議所・十日町織物工業協同組合・十日町市民謡協会・十日町市舞踊協会・十日町旅館組合・越後十日町小唄屋・新潟日報社・秋十日町新聞社・十日町タイムス社・妻有新聞社・エフエムとおかまち



●十日町きものもよう 一筆箋 500円(税込)

●十日町きものもよう ポチ袋 350円(税込)

●十日町きものもよう 紙風船 500円(税込)

●十日町珈琲 220円(税込)

●十日町小唄物語 1,200円(税込)

絶賛発売中!!

Tokamachi Tourist Information
十日町市総合観光案内所
よるとこ きくとこ みるとこ
Tocco -とっこ-
[営業時間] 9:00~17:00 十日町駅西口

次第

開 会

9時50分

予 選 会

10時00分

(休憩 12時～1時00分)

あいさつ

1時00分

予選結果発表

1時10分

少年少女の部 決選会

1時20分

決 選 会

2時00分

アトラクション

3時30分

審査結果発表・表彰式

4時20分

(予定時間)

審査員

審査員長

公益財団法人
日本民謡協会監事

森 松 潮

審査員

一般財団法人
日本郷土民謡協会常務理事

伊 庭 末 雄

公益財団法人
日本民謡協会新潟県連合委員会委員長

中 田 敏 夫

一般財団法人
日本郷土民謡協会新潟地区連合会会長

田 中 一 男

伴奏者

尺八 廣田公男

尺八 山田信男

尺八 佐藤 勤

尺八 室岡 徹

尺八 仲野浩平

三味線 佐藤 清

三味線 林 潔

三味線 樋口 誠

三味線 柄沢ツタ子

三味線 保坂まゆみ

三味線 水落まどか

三味線 上原民子

三味線 本多瑞枝

太鼓 藤田貢一

太鼓 上村和枝

司 会

早 見 純 子

(フエとわかまチアナウンサー)

アトラクション

昨年度優勝者出演

十日町小唄

佐藤 陽子

(昨年度優勝者)

ゲスト出演



津軽三味線
輝&輝
KIKI

2008年に白藤ひかり、武田佳泉のふたりに
よって結成された本格派津軽三味線デュオ。そ
れぞれが全国大会で日本一になった経験を持
つ。現在、関東地方を中心に全国的に活動を行
っている。演奏曲目は古典である民謡から、
POP調・ロック調を取り入れたオリジナル曲
やカバー曲まで幅広い。津軽三味線ならではの
迫力と、女性らしい繊細さを兼ね備えた表現を
目指して日々精進している。
全日本津軽三味線競技会名古屋大会デュオの部
にて6度の優勝を果たす。

2015年・ももいろクローバーZ「桃神祭」に
てももクロ和楽隊に参加

2016年・中京テレビ「オードリーさん、ぜひ
会って欲しい人がいるんです」出演

テレビ東京「隅田川花火大会」出演

2017年・カサフスタンで行われたアスタナ万
博に参加

2019年・beeyond2020プログラム初
のアーティスト認証を得る。

地元芸能団体出演

天神ばやし・深雪甚句

十日町市民謡協会
十日町市舞踊協会

(出場順)

《一般の部》

- 1 大門 直一 富山県中新川郡
- 2 中野 雄次 新潟市
- 3 永川 哲夫 新潟市
- 4 岩田 吉之助 十日町市
- 5 小林 栄司 長岡市
- 6 櫻井 直子 神奈川県横浜市
- 7 櫻井 節子 愛知県豊田市
- 8 椋澤 幸子 魚沼市
- 9 坂本 武夫 茨城県常陸大宮市
- 10 柴田 令子 愛知県あま市
- 11 井口 万里子 魚沼市
- 12 上村 栞里 長岡市
- 13 松原 花子 富山県富山市
- 14 井上 文子 南魚沼市
- 15 伊藤 理恵 東京都世田谷区
- 16 山田 敏子 愛知県名古屋市中区
- 17 京角 知江 富山県射水市
- 18 荒木 春子 大阪府守口市
- 19 関 明日花 長岡市
- 20 加賀谷那智子 富山県富山市

- 21 荒木 恵美子 富山県富山市
- 22 里見 三早希 岐阜県関市
- 23 関 里圭子 小千谷市
- 24 齋藤 サヨ子 大阪府大阪市
- 25 原 義博 新潟市
- 26 佐々木 千保 三重県尾鷲市
- 27 剣持 麻美 愛知県名古屋市中区
- 28 箕輪 トキ子 長岡市
- 29 和田 朝枝 大阪府東大阪市
- 30 坂東 マリコ 大阪府大阪市
- 31 金澤 寿美子 魚沼市
- 32 入山 佳子 新潟市
- 33 浦上 洋子 長岡市
- 34 佐藤 愛珠 新潟市
- 35 上村 美代子 小千谷市
- 36 山崎 恵里子 小千谷市
- 37 宝田 晴美 富山県下新川郡
- 38 室橋 京子 糸魚川市
- 39 小林 真保 新潟市
- 40 武石 純子 茨城県ひたちなか市
- 41 田中 璃夢 小千谷市
- 42 笛木 カツ子 南魚沼市
- 43 滝口 梨沙 富山県富山市
- 44 増田 淳子 京都府京都市
- 45 小玉 ます子 魚沼市

- 46 林 春江 富山県高岡市
- 47 渡邊 花梨 長岡市
- 48 川田 和子 十日町市
- 49 仲田 君子 大阪府寝屋川市
- 50 吉野 ツヤ子 柏崎市
- 51 海老 真理子 新潟市
- 52 溝口 美枝子 長岡市
- 53 本多 瑞枝 十日町市
- 54 中静 ヒデ子 長岡市
- 55 石黒 恵里奈 長岡市
- 56 小林 ルリ子 十日町市
- 57 小林 洋子 十日町市
- 58 黒川 淳美 大阪府高槻市
- 59 八木 佐知子 南魚沼市
- 60 東 八重子 小千谷市
- 61 金澤 亮子 東京都練馬区
- 62 田中 和代 小千谷市
- 63 鈴木 やよい 愛知県刈谷市
- 64 山下 博子 富山県高岡市
- 65 田口 恵子 三島郡出雲崎町
- 66 長岡 雅子 新潟市
- 67 丸山 ひろ代 新潟市
- 68 小玉 由紀子 魚沼市
- 69 川上 朋恵 小千谷市
- 70 山本 洋子 上越市

《少年少女の部》

- 1 古田島 美麗 長岡市
- 2 綱 心優 長岡市
- 3 綱 日愛 長岡市
- 4 小林 風華 長岡市
- 5 古田島 美優 長岡市
- 6 吉田 雅 魚沼市
- 7 水落 まお 十日町市
- 8 関 優梨 長岡市
- 9 黒島 可暖 長岡市
- 10 高橋 汐奈 魚沼市
- 11 黒島 帆夏 長岡市
- 12 林 美里 富山県高岡市
- 13 林 桜子 富山県高岡市
- 14 関 優奈 長岡市
- 15 山賀 桃子 愛知県名古屋市中区
- 16 保坂 明里 十日町市
- 17 滝口 心愛 富山県富山市

十日町小唄

永井白淵 作詞
中山晋平 作曲

越後名物 かずかずあれど
明石ちぢみに雪の肌
着たら放せぬ 味のよさ
テモサツテモ ソジヤナイカ
テモ ソジヤナイカ

娘ざかりを なじよして暮らす
雪にうもれて 機仕事
花の咲くまじや 小半年

窓にさらさら 粉雪の音を
聴いて眠れぬ 夜もすがら
やるせないぞや 雪明り

人が見たらば 横町へよけて
雪のトンネル かくれ場所
恋のぬけ道 まわり道

雪が消えれば 越路の春は
梅も桜も みな開く
わしが心の 花も咲く

屋根の雪なら 下しもさりよが
恋の重荷を 何としよう
私しや苦勞が ますばかり

玉の汗にも ちぢまぬ明石
着れば透きます 雪の肌
本場越後の 十日町

◆ 十日町小唄の由来 ◆

大正から昭和初期にかけて、全国的に民謡が大流行していました。この流行期の昭和四年、十日町織物のCMとして永井白淵に作詞、中山晋平に作曲を依頼、それに女優、水谷八重子の振り付けで踊りができました。

最初はビクターから新民謡「サツテ毛節」として発売、全国的に広まりました。戦後新たに編曲し、三十五年

十一月週刊サンケイの「全国民謡・新民謡ベストテン」で新民謡部門の第一位に選ばれて再び脚光を浴びるようになりました。

詞は十日町織物の象徴だった明石縮を唄い、踊りは雪のロマンを哀愁をこめて表現した十日町の代表作で、新潟県の民謡として佐渡おけさと共に全国で愛唱されています。



十日町織物工業協同組合

理事長 吉澤 武彦
副理事長 根津 亮一
副理事長 水落 邦夫

祝

第38回 十日町小唄
日本一優勝大会

祝

第38回 十日町小唄
日本一優勝大会

地域とともに—— JA十日町 新潟県十日町市高山641-1
TEL (025) 757-1571 FAX (025) 757-2188

JA十日町グループ
株式会社 ポート十日町 株式会社 コープ中里
株式会社 ひっとランド 社会福祉法人 やまびこ とかちゃん

祝

第38回 十日町小唄
日本一優勝大会

きものそばの街 越後十日町 小嶋屋

本店 / 〒948-0082 新潟県十日町市本町4丁目16番地1
TEL (025) 757-3155 FAX (025) 757-9700
ホームページ www.hegisoba.co.jp
メールアドレス hegisoba@hegisoba.co.jp

●十日町きものもよう 一筆箋

500円 (税込)

●十日町きものもよう ポチ袋

350円 (税込)

●十日町きものもよう 紙風船

500円 (税込)

●十日町珈琲

220円 (税込)

●十日町小唄物語

1,200円 (税込)

Tokamachi Tourist Information
十日町市総合観光案内所

よるとこ きくとこ みるとこ

Tocco -とっこ-

[営業時間] 9:00~17:00 十日町駅西口

絶賛 発売中!!

前夜祭

歴代十日町小唄 日本一優勝者大競演会

天皇陛下御即位記念
第34回国民文化祭・いがた2019、
第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会
十日町小唄誕生90周年記念

越後名物 かずかずあれど
明石ちぢみに 雪の肌
着たら放せぬ味のよさ
テモサツテモ ソジヤナイカ
テモ ソジヤナイカ

入場無料

プログラム有料
一部 500円
当日販売

令和元年 9月21日(土)

開場/午後2時
開演/午後3時

ゲスト 松亭太鼓

会場/越後妻有文化ホール 段十ろう
Echigo-Tsumari Auditorium Danjuro
〒948-0083 新潟県十日町市本町一丁目上508番地2

主催/文化庁・厚生労働省・新潟県・新潟県教育委員会・第34回国民文化祭・第19回全国障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会・十日町市・十日町市教育委員会・第34回国民文化祭・第19回全国障害者芸術・文化祭十日町市実行委員会
(一社)十日町市観光協会 新潟県十日町市旭町251番地17 十日町市総合観光案内所内 TEL025-757-3345

後援/ (公財)日本民謡協会・(一財)日本郷土民謡協会・(公財)日本民謡協会新潟県連合委員会・(一財)日本郷土民謡協会新潟地区連合会・(公社)新潟県観光協会・(一社)新潟県民謡協会・NHK 新潟放送局・BSN 新潟放送・N S T・TeNY テレビ新潟・UX 新潟テレビ21・十日町農業協同組合・十日町商工会議所・十日町織物工業協同組合・十日町市民謡協会・十日町市舞踊協会・十日町旅館組合・越後十日町小唄屋・新潟日報社・朝十日町新聞社・十日町タイムス社・妻有新聞社・エフエムとおかまち



第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭十日町市実行委員会 会長 十日町市長

関口 芳史

新潟県では初となる「第34回国民文化祭」にいがた2019」が、9月15日から11月30日までの77日間の会期で開催されています。

そして、十日町市の開催イベントの皮切りとして「第38回十日町小唄日本一優勝大会」が開催されます。開催にあたりご尽力いただきました十日町市民謡協会及び十日町市舞踊協会の皆様をはじめ、関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。

また、今年には国民文化祭の開催を記念し、大会前夜祭として「歴代優勝者大競演会」を開催します。過去37回の大会優勝者のうち30人が出演し、この機会で見なければ見ることができない風格と自信に満ちた優勝者の競演は、皆様の脳裏に焼き付く感動のステージになると確信しています。

なお、当市では、この他にも「ゴスペルの祭典IN新潟」、「安吾フェスティバル」、「笹山遺跡出土品国宝指定20周年記念シンポジウム『縄文の国宝』」、「まちなか×GAKUENSAI2019」、そして「きもの祭典in十日町」と県内トップクラスの規模でイベントを開催し、国民文化祭を積極的に盛り上げてまいりますので、ぜひ、この機会にご覧いただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたりご後援を賜りました公益財団法人日本民謡協会並びに一般財団法人日本郷土民謡協会をはじめ、関係者の皆様に改めて御礼を申し上げます、ご挨拶とします。



(一社)十日町市観光協会会長

青柳 安彦

「歴代十日町小唄日本一優勝者大競演会」の開催にあたり、一言「あいさつ」申し上げます。ご存知のとおり、十日町小唄は昭和4年に十日町織物のコマージュルソングとして永井白溜さんに作詞を、中山晋平さんに作曲を依頼して生み出されました。

平成2年発行の「十日町小唄物語」によると、十日町織物の宣伝歌でありながら、「十日町を我が子のごとく愛する永井白溜の配慮で織物に関する言葉は二、三句にとどめて、専ら十日町の風物を中心に雪国の情景や情緒を主題にして作詞されました。極端な産地の宣伝臭を避けるために、はじめは十日町の名を隠して、(サツテモ節)の表題で発表されることになりました。」とあります。いずれにいたしましても、「十日町小唄」は雪国十日町の人情味をやわらかく表現した「歌詞」で、聴く人に十日町のことを何気なく語りかけるような情緒ある「新民謡」と言ってもよいでしょう。

本日は、新潟県を会場に「第34回国民文化祭」が開催されていることから、記念として「歴代優勝者大競演会」を開催することとしました。本日出演いただける30名の歴代優勝者は、いずれも民謡の魅力を知り尽くした皆様です。ご来場の皆様には、この「大競演会」を思う存分お楽しみいただければと思います。

結びに、本事業の実施にあたり、お力添えを賜りましたすべての関係者に心よりお礼申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

出演者

オープニング 松苧太鼓

十日町市 午後3時

- 津軽あいや節 第三十六回 一般の部 優勝 水落 まどか 十日町市
お六甚句 第三十五回 一般の部 優勝 羽吹 徒史子 南魚沼市
両津甚句 第三十四回 一般の部 優勝 高橋 寿子 新潟市
祖谷の粉ひき唄 第三十二回 六十歳以上の部 優勝 丸山 美代子 新潟市
小千谷小唄 第三十一回 六十歳未満の部 優勝 横山 歩美 小千谷市
信濃追分 第三十回 六十歳以上の部 優勝 田村 菊子 長岡市
秋田大黒舞 第三十回 六十歳未満の部 優勝 柳 愛子 十日町市
岩室甚句 第二十九回 六十歳以上の部 優勝 田村 美紀子 北蒲原郡
米山甚句 第二十八回 六十歳以上の部 優勝 長谷川 ヨシ子 十日町市
米節 第二十八回 六十歳未満の部 優勝 堀 ひろみ 千葉県千葉市
秋田大黒舞 第二十七回 六十歳以上の部 優勝 高橋 幸子 新潟市
岩室甚句 第二十七回 六十歳未満の部 優勝 楡井 フサ子 燕市
山中節 第二十四回 女性の部 優勝 山口 幸子 石川県羽咋市
日向木挽唄 第二十三回 男性の部 優勝 相澤 貞夫 長岡市
盆の流し唄 第二十三回 女性の部 優勝 川田 智代乃 十日町市

アフタクション 十日町ブギ・十日町織物に題す 踊り・十日町市舞踊協会 午後4時30分

- 磯節 第二十二回 女性の部 優勝 羽田 史子 茨城県筑西市
相撲甚句 第二十一回 男性の部 優勝 中村 正喜 長岡市
南部馬方三下り 第二十一回 女性の部 優勝 若瀬 弥生 東京都三鷹市
越後追分 第十九回 男性の部 優勝 原 市男 阿賀野市
会津磐梯山 第十八回 女性の部 優勝 小林 絹江 福島県会津若松市
佐渡おけさ 第十七回 優勝 渡邊 克子 新潟市
宮津節 第十六回 優勝 田村 法子 十日町市
日光山唄 第十三回 優勝 渡辺 澄子 栃木県栃木市
名古屋甚句(名物入り) 第十回 優勝 剣持 洋子 愛知県名古屋市中区
岩室甚句 第九回 優勝 福原 むつ子 長岡市
五島さのさ 第八回 優勝 尾身 文子 十日町市
米山甚句 第六回 優勝 佐藤 カオル 魚沼市
喜代節 第五回 優勝 高橋 テイ 十日町市
佐渡おけさ 第三回 優勝 小林 よしえ 新潟市
さんさ時雨 第一回 優勝 金沢 幹枝 十日町市

ファイナル 十日町小唄 全員 (踊り・十日町市舞踊協会) 午後5時50分

伴奏者

- 尺八 室岡 徹
尺八 廣田 公男
尺八 仲野 浩平
尺八 山田 信男
尺八 佐藤 勤
三味線 佐藤 清
三味線 林 潔
三味線 上原 民子
三味線 本多 瑞枝
三味線 内山 孝行
太鼓 上村 和枝
太鼓 藤田 貢一
お囃子 田村 法子
お囃子 尾身 文子

司会

早見純子 (エフエムとおかまちアナウンサー)

松苧太鼓



十日町市大伏(旧松代町)には重要文化財指定の「松苧神社」があります。上杉謙信が関東出陣の折、松苧神社に立ち寄り、戦勝祈願をし、小刀と軍配を奉納したと伝えられています。また、戦勝祈願のときに打ち鳴らしたのが「松苧太鼓」の始まりとも伝えられています。

この「松苧太鼓」は現在も松苧神社ふもとの「大伏(いぬぶし)」集落の保育園児から高校生までの若者により受け継がれています。小さな子供たちの精一杯の演奏と和太鼓の迫力ある響きは、夏祭りや冬の陣、各イベント・竣工式や式典などで好評を得ております。